



# ポプラ

令和2年度  
第11号  
令和3年  
1月28日発行  
東大和市立  
第四中学校

## 学校評価アンケート結果について

校長 住吉 豊

まずは、今年度も残すところあと2ヶ月ほどになりました。このコロナ禍においては、各御家庭におかれましては御苦労をされていることと思います。そのような中、生徒を毎日健康で送り出して頂いている事に、大変感謝しております。

さて、先日の緊急事態宣言を受けて、校内での実施を考えていた「合唱祭」を、大変残念ではありましたが中止する事を生徒に伝えました。今後も状況を踏まえながら、生徒達の健康、安心、安全を踏まえた上で、教育活動について検討して参りたいと思います。

話は変わりますが、先日保護者の皆様から御回答頂いた学校評価の結果を、グラフにまとめましたので御覧ください。(中に折り込んであります) ※寄せられた声につきましては、先号にて回答しております。

### 〈保護者アンケート結果より〉

結果を見てみると、施設設備面の継続した課題と、今年度コロナ禍のためにほぼ実施できなかった学区の小学校との連携事業や、運動会・合唱コンクールの行事に関わる質問を除くと、「1」の「とてもそう思う」と、「2」の「そう思う」を合わせた結果が、どれも80%～94%になりました。特に、16番の「子どもを四中に入学させて良かった」という質問については、94%の方から肯定的な御意見を頂くことができました。感覚的な質問で、他の質問の総合的な要素が強いですが、大変うれしいことです。今後も地域の皆さんに誇って頂ける学校になるよう教職員一同努力して参りたいと思います。

### 〈生徒アンケート結果より〉

今年は学年毎に集計をしてみました。学年による違いがわかります。その中で、「充実した学校生活を送っている」という問いに対して、肯定的に答えた生徒が、1年生：85%、2年生：91%、3年生：91%にも上りました。コロナ禍において、楽しくない学校生活だったかなと思っていたのですが、思ったよりも生徒は楽しく過ごしていたのでしょうか。それに対して「自分自身や学校に誇りをもっている」という問いに対しては、1・2年生が約60%、3年生が56%と低いことが気になっています。過去の全国学力学習状況調査のアンケートでも、「自己肯定感」は低いと感じていたので、学力を身に付けさせること。体験活動を通して課題を解決することが自信を深めると考え、コロナ禍の中でもできる行事の取組や、授業改善にも皆で取り組んで参りました。しかしながら、継続した課題として今後も工夫や改善に取り組んでいきます。

今後も、様々な状況を想定しながら子ども達の成長を願って、様々な取組を検討していきたいと思っています。御意見等お待ちしております。

## 生徒が表彰を受けました！

東大和市教育委員会児童・生徒表彰、並びに、東京都教育委員会児童・生徒表彰 受賞  
平野翔くん（3年）

昨年、道端で高齢の方が具合悪そうにしていたところに声をかけ、周りに助けを求めて救助にあたったことで、東大和市並びに東京都からも表彰を受けました。

東大和市教育委員会児童・生徒表彰  
松本龍大くん（1年）

第30回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場（金賞受賞）を受け表彰されました。

税の作文コンクール 入賞  
梶山果倫さん（3年）

全国納税貯蓄組合連合及び多摩納税貯蓄組合主催による税の作文において表彰を受けました。

全国読書感想文コンクール北多摩地区 佳作

高橋奏音さん 井手心晴さん 田村奏空さん 石橋知奈さん（以上1年生）が表彰を受けました。

## 「合唱祭への思い」

文化的行事委員長（音楽科） 相馬 孝洋 主任教諭

今年度、音楽の授業は外で歌う活動から始まりました。一定の距離で配置したカラーコーンを中心に、4人が背中合わせに違う方向を向いて並びました。生徒たちは互いの声が聞こえづらいようでしたが、少しずつ充実した合唱になっていきました。また、雨が降るたびに外で歌う活動は中止になり、ついには暑さのために外で歌えなくなりました。それでも、地域の方から温かい励ましの声をたくさんいただきました。

10月にルネこだいら大ホールで予定していた合唱コンクールは中止になりましたが、代替行事として合唱祭の企画が11月ごろから始まりました。場所は体育館。学年ごとに行うこと。自由曲のみの1曲にすること。並ぶ列を増やして互いの距離を保つこと。合唱祭前の練習場所は校庭で行うことも視野に入れていました。2学期の期末考査前後に自由曲が決まり、実行委員も各クラスですぐに決まりました。指揮者、伴奏者については、立候補者が多いクラスはオーディションを行いました。12月中には実行委員会も開催しました。その後は御承知の通り、年始になって緊急事態宣言の発令を受け、3学期は音楽の授業で通常の歌唱活動は行うことができなかったこともあり、生徒たちの安全面を考慮して合唱祭の中止を決断しました。

学校は勉強をするための場所ではありません。生徒たちは朝登校して家に帰るまで、授業以外の様々な場面でもたくさんのことを学んでいます。行事や委員会、部活動もその一つです。また、合唱祭は歌の技術を競うための行事ではありません。音楽（合唱）を通じて、目標をもち、計画を立てること。そしてクラスでけんかしたり、仲直りしたりすること。最後には思いを一つに歌い、その喜びや悔しさを分け合うこと。そういうかけがえのない大切なことを学ぶための行事です。そして心に残る思い出の1ページです。それが再び中止となったことは、身を切られる思いです。

今年で卒業する3年生には、1・2年生の時の合唱コンクールの思い出を胸に、これから旅立った新たな場所で、もしまた音楽と向き合う機会があるならば、経験を生かして活躍してほしいと思います。また、1・2年生には、来年度以降に開催されたときに、今年度の分まで力を出し切ってほしいと思います。開催に向けて準備をしてくれた実行委員のみなさん、自由曲の練習をしてくれた指揮者、伴奏者のみなさん、本当にありがとうございました。みなさんの思いを、来年度に必ずつなげていきたいと思います。



## 令和2年12月25日（金） 二学期終業式



新型コロナウイルス感染予防のため、校庭で二学期の終業式を行いました。「二学期を振り返って」を1年生学級委員の菅野友佑さん、井上白琉さん、加藤 空さんが堂々と発表しました。このような今だからこそ「団結」が大切です。

## 令和3年1月8日（金） 三学期始業式



四中では初めてのリモートによる始業式を行いました。コロナ予算で各教室にテレビを買っていただき実現することができました。校長講話と三学期の決意（3年生学級委員 丸山正剛さん）の詳しい内容は、学校ホームページで公開しています。

## 1月14日（木） 避難訓練 地震 予告なし



校庭への避難は行わず、予告なしで行いました。真剣に避難できました。

## 1月 美術 授業内の作品

今月は3年生の授業作品を紹介します。4・5月の臨時休業中の課題「うちわ」と、箱型の立体作品「箱の中は外の世界」、彫刻刀で削った黒い板「黒彫版」を中心に掲示しています。また、2年生の時に制作した「立体文字」も校長室前に飾っているので、2年生の皆さんは参考にしましょう。2月以降は2年生、1年生の掲示も予定しています。



## 1月18日（月）生徒会朝礼

前日に整理整頓をした放送室のスタジオで、生徒会役員による3年生応援企画が行われました。リモートにより、1・2年生が作成した応援メッセージが書かれた桜の木を実際に見せながら3年生にエールを伝えることができました。

